

「水害・土砂災害」

情報の伝え方が変わります



大雨や台風の気象情報に注意して
早めの防災対策・避難行動を一



▲柿原地区土砂災害

国の「避難勧告等に関するガイドライン」が改定され、災害時、避難行動を取りやすいよう、新たに5段階の警戒レベルに分けられました。

気象庁や町が発表する情報を有効に活用し、早めに避難行動をとるようにしましょう。

■南関町および気象庁から発令・発表される避難情報

警戒レベル	種 類	取るべき行動	
レベル5	災害発生情報 大雨特別警報	命を守る行動	既に災害が発生している状況。 命を守るための最善の行動を取る
レベル4 (全員避難)	避難勧告・避難指示 土砂災害警戒情報	避難	極めて危険。指定緊急避難場所が 安全な場所に避難
レベル3 (高齢者等避難)	高齢者避難開始 避難準備	高齢者などは避難 他の住民は避難準備	避難に時間がかかる要配慮者(高齢者、 障がい者のなど)は避難 その他の住民は自主避難・避難準備
レベル2	大雨・洪水 注意報	避難行動の確認	避難に備え、避難場所や避難経路 などの確認
レベル1	今後警報級の 可能性	心構えを高める	防災気象情報に注意するなど、 災害への心構えを高める

雨が激しくなる前に行動しましょう!!

台風や豪雨などの風水害は、襲来時期や規模がある程度予測できるため、事前の避難が可能です。「動きやすい服装、必要最小限の荷物で、河川や水路には近づかず、土砂災害警戒区域外に避難しましょう。」

地域の食生活改善に貢献

食生活改善連絡協議会

食品生活改善推進連絡協議会(原賀由美子会長)の龍輝代さん(肥猪)、北原露子さん(上坂下)、渡邊芳枝さん(関東)は、7月11日に佐藤町長を訪問し、熊本県食生活改善推進連絡協議会長から功労者として表彰を受けたことを報告しました。3人は、20年間地域の食生活改善のために寄与されたことが認められ受賞となりました。

龍さんらは、「これからは、若い人や子どもたちに手作りの味を知ってもらうため、何ができるかを考えていきたい」と目標を語り、佐藤町長は、「全ては“食べる”ことから始まる。20年もの長い間町民のために活動していただいて感謝しています。」と述べました。



▶ 左から北原さん、龍さん、佐藤町長、渡邊さん、原賀さん

▶ シャボン玉で遊ぶ子どもたち



願いを短冊に

御茶屋跡で「七夕まつり」

南関宿場町伝楽人(宮尾洋一会長)は7月7日、南関御茶屋跡で「七夕まつり」を開催しました。

第三小学校児童による『RUNNER～人生をかえた十二キロ～』の合唱や町内4小学校の代表による童話発表、紙芝居などがありました。

童話発表では、児童たちは緊張しながらも、はっきりとした口調で感情豊かに発表していました。

また、懐かしい遊びの体験もあり、子供たちは伝楽人に教わりながら、ビー玉遊び、ぶんぶんゴマやシャボン玉などを楽しみました。縁側には笹竹が設置され、来場者や町内の保育園児などが書いた短冊が飾り付けられていました。

熊本県水とみどりの森づくり税

～くらしを支える森林を元気にするための取組みについて～

熊本県では、平成17年度(2005年度)から「熊本県水とみどりの森づくり税」(年間個人500円、法人1,000円～40,000円)を活用して、水を蓄え災害を防ぐなど、私たちのくらしを支える大切な財産である森林を元気にするための取組みを進めています。皆様のご理解とご協力をお願いします。[熊本県水とみどりの森づくり税 検索](#)

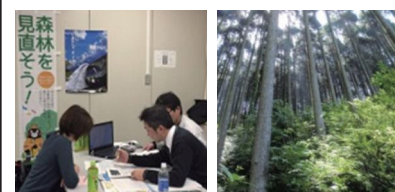
みんなで熊本の森林を守っていくモン♪
お問い合わせ
熊本県 森林整備課
TEL.096-333-2438



©2010 熊本県 くまモン

1 水源かん養機能などを発揮するための森林づくり

- ◇伐採の跡地への植林や、災害を防ぐための間伐などを行うことにより、多様で豊かな森林にするための支援
- ◇森林の所有や管理に関する相談や情報提供、意欲ある担い手に森林を集約化するための取組みなどの、所有者に対する森林整備の働きかけ



- ◇森林に被害を及ぼすシカの侵入を防ぐネット設置などへの支援

2 森林の重要性を伝え、森林を守り育てるための担い手の育成

- ◇森林を守り育てる地域リーダーの育成
- ◇住民のみなさんが行う森づくり活動や、子どもたちを対象にした森林環境教育などへの支援
- ◇漁業者が実施する流木除去や森づくりなどの川上から川下までの活動支援



3 森林や木材を活かした地域・景観づくり

- ◇県産の木材を利用して、各地域の特色を活かした景観づくりを行う団体などへの支援
- ◇保育園などへの木製机・椅子導入支援、学校林での体験学習の実施など、森林に親しむ活動への支援

